

3号機 燃料取り出しの状況について

2020年1月30日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 燃料取り出しの状況

- 燃料取り出し再開に向けた準備作業中に発生した不具合への対策や機器の動作確認を終えたため、2019年12月23日に燃料取り出し作業を再開した。
- 2020年1月20日、8回目取り出しにて使用済燃料の取り出し（輸送容器への装填）を開始した。なお、8回目取り出しは新燃料3体および使用済燃料4体を取り出し、3号機使用済燃料プールの新燃料計52体の取り出しは完了した。
- 2020年1月25日時点で、計56体の燃料の共用プールへの輸送が完了している。



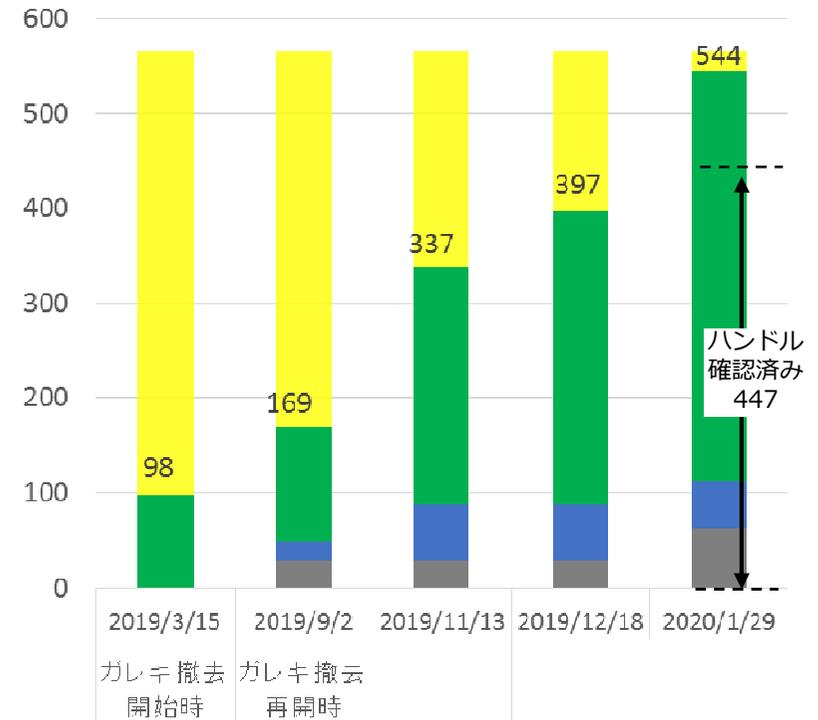
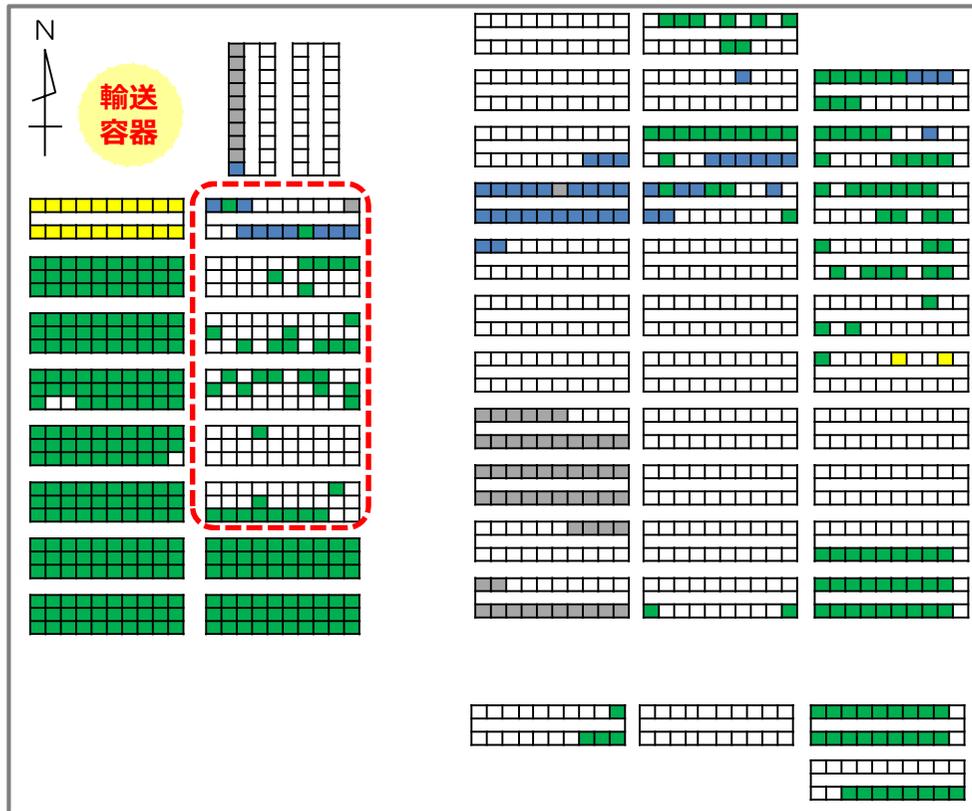
使用済燃料のラックからの取り出し状況



使用済燃料の輸送容器への装填状況

2. ガレキ撤去状況

■ 大部分の燃料上部についてガレキの撤去を進めている



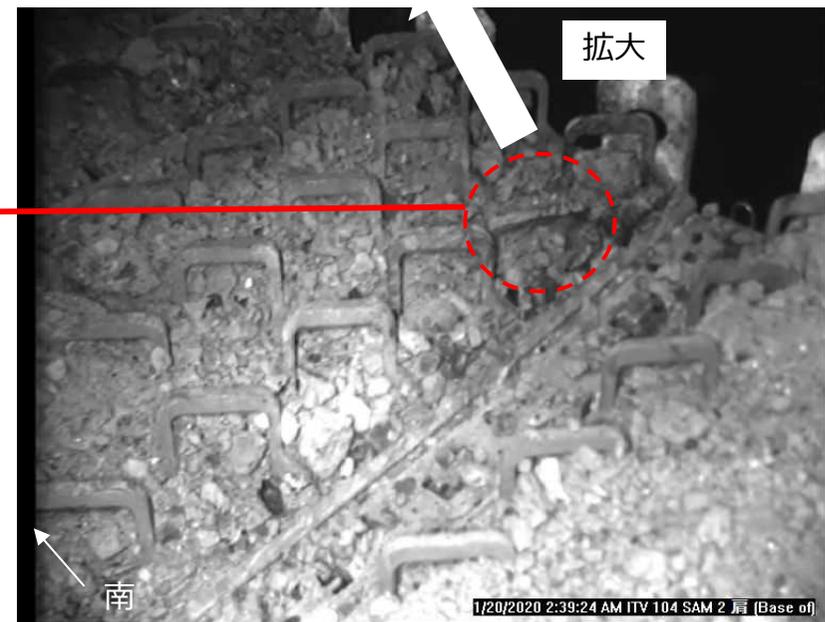
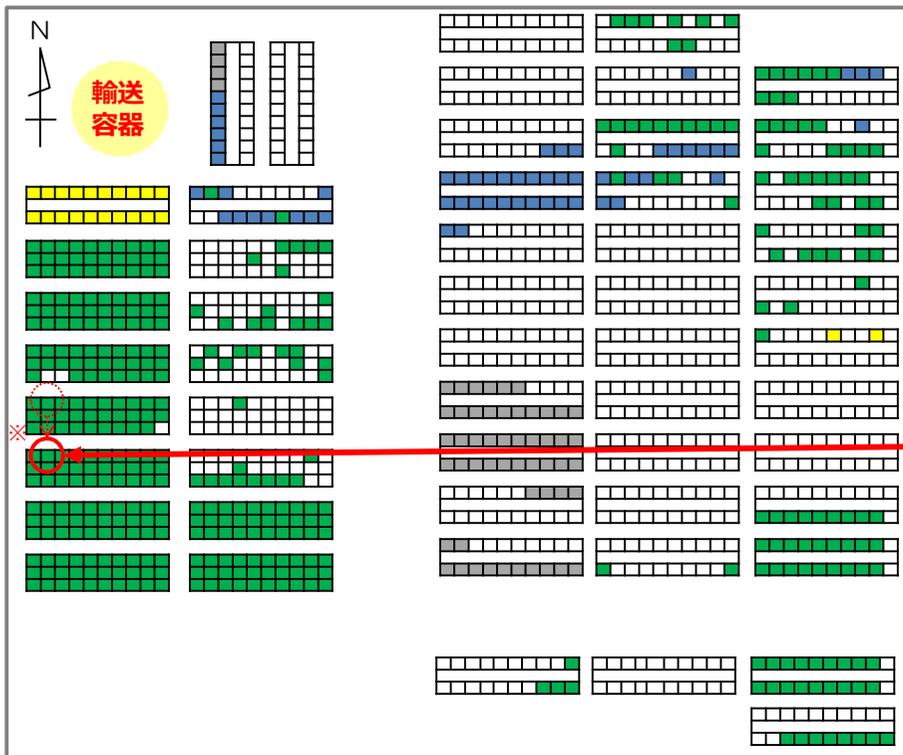
凡例：

- : 燃料取出済
- : ガレキ撤去完了 = 燃料取り出しが可能な状態
- : ガレキ撤去中
- : ガレキ撤去未実施
- : 燃料が入っていないラック
- : 落下した燃料交換機、コンクリートハッチがあったエリア

- ガレキ撤去によりハンドルが確認できた燃料は、447体/566体（先月から+110体）
 そのうちこれまでハンドル変形を確認した燃料は、13体（先月から+1体）

3. ガレキ撤去進捗に伴うハンドル変形の確認

- 1月17日 3号機使用済燃料プール内のガレキ撤去作業中に新たに1体についてハンドル変形を確認した。
- この1体を含め、これまでにハンドル変形を確認した総数：13体



※ 新たに1体確認したハンドル変形燃料の位置を訂正 (2020/4/6)

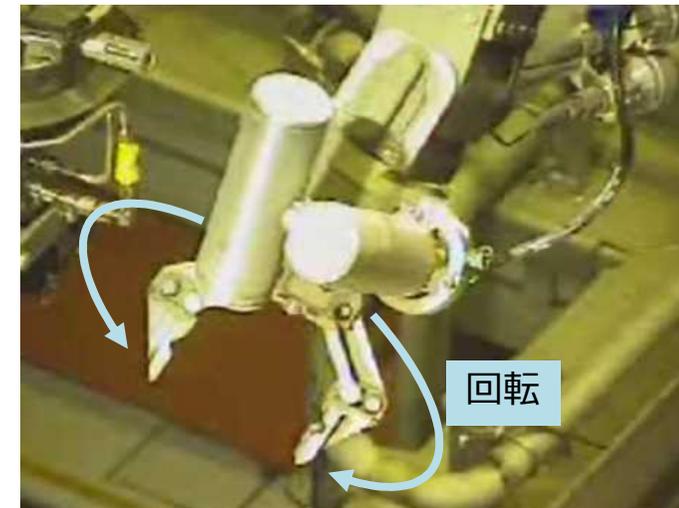
- 1月21日、使用済燃料プール内のガレキ撤去時において、マニピレータの左腕手首の回転の微調整操作を行った際、通常より手首が速く回転することを確認。
- 動作確認の結果、当該マニピレータの左腕手首以外は、通常どおり動作することを確認。
- 予め定めていた以下に示す代替処置に基づき燃料取り出し作業は実施できるため、今後の作業に影響はない。

▶燃料取り出し作業

輸送容器の一次蓋締め付け時、蓋締め付けボルトのトルクを確認して密封確認しているが、あわせて実施する密封確認装置のバルブ操作に左腕を使用している。代替処置として地上階に吊りおろし後、有人作業にて当該の密封確認を実施し、燃料取り出し作業を継続実施している。

▶ガレキ撤去作業

マニピレータの右腕を使用し、ガレキ撤去作業を継続実施。また、マニピレータの左腕の回転に注意しながら左腕によるガレキ撤去を継続。なお、マニピレータ左腕は予備品を保有済。



マニピレータ左腕手首